

平成28年度調達等合理化計画の実施状況及び評価

○公正性・透明性を確保しつつ、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むため、平成28年6月、調達等合理化計画を策定。

○主な実施状況は、以下のとおり。引き続き取組を進め、課題等は平成29年度調達等合理化計画に反映

○重点的に取組む分野

計画の内容

- ①訪日プロモーション事業の企画競争実施に当たっての要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施
→ 事業の増加等に対応するため、要件審査体制の充実及び迅速化を図るとともに、一層計画的な事業の実施を図るため適切な進捗管理を行う。
- ②企画競争の一者応募の見直し
→ 企画競争説明書を受け取りながら参加しなかった事業者に対して、アンケート調査を行い、要因を分析する。
- ③障害者就労施設等からの調達
→ 障害者就労施設等からの調達について対象物品等の拡大を図る。

取組みの状況及び効果

【訪日プロモーション事業の企画競争実施に当たっての要件審査の充実及び迅速化並びに計画的な事業実施】

→ 企画競争の要件審査チェックリストを作成し、応募者から確認済のチェックリストの提出を受け、不備がないか事業担当者が審査(54件)したうえで、審査員による企画審査を行ったことにより、要件審査の充実・迅速化が図られ、一層計画的な事業の実施と適切な進捗管理に役立った。

【企画競争の一者応募の見直し】

→ 企画競争169件中43件が一者応募(前年度33%から25%に減少)。アンケート調査を分析した結果、理由の約7割が、自社の都合(他の契約案件対応中、自社の得意分野ではない等)及び自社では履行困難であったとの理由であり、主に事業者側の理由によるものが多いことが明らかとなった。一方で企画提案書の提出期限に余裕がなかった等の意見(前年度26%から14%に減少)も見られたことから、当機構における改善の取組として引き続き要件審査の迅速化に取り組む。当機構の取組を検討するため来年度もアンケート調査を実施する。

【障害者就労施設等からの調達】

→ 12件1,120千円(前年度5件82千円)となり増加。平成27年度に調達したクリーニング、ゴム印に加え、名刺印刷やインクカートリッジ等の調達を実施した。

○調達に関するガバナンスの徹底

計画の内容

①随意契約に関する内部統制の確立

→ 競争性のない随意契約を新たに締結した案件については、監査室の点検を受けることとする。

②職員のスキルアップ

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について、人材育成が極めて重要であることから、海外事務所職員を対象として調達に係る内容の研修を実施することにより、職員のスキルアップを図る。

取組みの状況及び効果



【随意契約に関する内部統制の確立】

→ 競争性のない随意契約等を新たに締結した45案件については、会計規程における「随意契約によることができる事由」との整合性について、監査室による独立した立場からの点検がなされた。

【職員のスキルアップ】

→ 一層複雑化・専門化している調達業務について職員のスキルアップを図るため、平成28年度はバンコク事務所及びシンガポール事務所の職員を対象とした研修を実施し、また海外赴任予定者に対しても赴任前研修の中で適正な契約事務手続きについて研修を行った。これらを通じて、適正に調達業務が遂行された。

○平成28年度調達等合理化計画の評価

平成28年度独立行政法人国際観光振興機構調達等合理化計画について、取組み内容及び効果を検証した結果、公正性・透明性を確保しつつ調達の合理的に寄与するものとなったことから、その目的を達成したと認められる。引き続き、PDCAサイクルにより、自律的かつ継続的に調達等の合理化に取り組むこととし、平成28年度の自己評価にて明らかになった課題については、平成29年度の調達等合理化計画に反映させ、改善に向けて取り組んでいく。